令和４年　６月　１日現在

シラバス

商号又は名称：　　ウェルコンサル株式会社

科目番号・科目名	（１）職務の理解（６時間）			
指導目標	介護の基本事項や福祉全般の概要について、受講者が介護職の仕事をイメージしやすいように、これからの介護や目指すべきケアなどを含めて基本的な事項を伝える。以降の研修との関連性を持たせて講義することで、学習の素地形成を促す。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 （別紙でも可）
①　多様なサービスの理解	2	2	0	【講義内容】 ・介護とは ・介護サービスの仕事とは ・介護保健サービスの種類 ・介護保険外サービスの種類
②　介護職の仕事内容や働く現場の理解	4	4	0	【講義内容】 ・研修課程の全体像 ・介護の資格とキャリアシステム ・居宅・施設の多様な働く現場における各仕事内容 ・居宅・施設の実際のサービス提供現場のイメージ 【演習内容】 介護職の仕事や現場が理解できるように見学やＤＶＤ資料を視聴し、介護現場についてグループディスカッションをおこなう。
（合計時間数）	6	6	0	

使用する機器・備品等	日本医療企画 介護職員初任者研修課程テキスト１「介護・福祉サービスの理解」

令和４年　６月　１日現在

シラバス

商号又は名称：　　ウェルコンサル株式会社

科目番号・科目名	（２）介護における尊厳の保持・自立支援（９時間）			
指導目標	介護職が、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚できるよう、介護職員が持つべき行動・態度が具体的に理解できるよう講義する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 （別紙でも可）
①　人権と尊厳を支える介護	7	2	5	【通信学習課題の内容】 ・人権の尊厳の保持 ・高齢者のための国連五原則 ・ＱＯＬ(Quality of Life) ・ノーマライゼーション ・バリアフリーとユニバーサルデザイン ・高齢者に対する虐待の種類と特徴 ・個人の権利を守る制度 【講義内容】 ・人権の尊厳の保持 ・アドボカシーとエンパワメントの視点 ・ICF(国際生活機能分類）の視点 ・ＱＯＬ(Quality of Life)の考え方 ・ノーマライゼーション ・虐待防止・身体拘束禁止 ・個人の権利を守る制度の概要 【演習内容】 人権と尊厳の保持の考え方を取り入れた介護についてグループディスカッションをおこなう。
②　自立に向けた介護	2	1	1	【通信学習課題の内容】 ・自立支援 ・自己決定・自己選択 ・介護予防 【講義内容】 ・自立支援 ・介護予防
③　（合計時間数）	9	3	6	

使用する機器・備品等	日本医療企画 介護職員初任者研修課程テキスト１「介護・福祉サービスの理解」

令和４年　６月　１日現在

シラバス

商号又は名称：　ウェルコンサル株式会社

科目番号・科目名	（３）介護の基本（６時間）			
指導目標	利用者に関わる様々な職種との連携と理解、介護職の役割と求められる専門性や職業倫理について講義する。また、職務におけるリスクとその対応策についても考える。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 （別紙でも可）
①　介護職の役割、専門性と多職種との連携	2	1	1	【通信学習課題の内容】 ・自己実現の支援 ・介護実践の原則 ・社会福祉士及び介護福祉士法 ・チームケアにおける各種専門職 【講義内容】 ・介護環境の特徴の理解 ・介護の専門性 ・介護に関わる職種やチームケア、多職種連携
②　介護職の職業倫理	1	0.5	0.5	【通信学習課題の内容】 ・日本介護福祉士会倫理綱領 ・プライバシーに関する留意点 ・介護福祉士の職業倫理 【講義内容】 ・介護職の職業倫理 ・プライバシーの尊重と秘密保持義務
③　介護における安全の確保とリスクマネジメント	2	1	1	【通信学習課題の内容】 ・高齢者の特性 ・危険予知訓練（KYT） ・感染症対策、感染症予防 【講義内容】 ・介護における安全の確保 ・事故予防、安全対策 ・緊急時に必要な知識 ・感染対策 【演習内容】 介護におけるリスクについてグループディスカッションをおこなう。
④　介護職の安全	1	0.5	0.5	【通信学習課題の内容】 ・介護職員の安全衛生 ・介護職員のこころの健康管理、ストレッサー ・腰痛予防のための健康管理 【講義内容】 ・介護職の心身の健康管理について 【演習内容】 ボディメカニクスについての演習
（合計時間数）	6	3	3	

使用する機器・備品等	日本医療企画 介護職員初任者研修課程テキスト１「介護・福祉サービスの理解」

令和４年　６月　１日現在

シラバス

商号又は名称：　　ウェルコンサル株式会社

科目番号・科目名	（４）介護・福祉サービスの理解と医療との連携（９時間）			
指導目標	福祉の制度の全体像･目的等についての概要と介護職の役割が理解できるように講義する。また、介護職が行うことができる医行為･医療職が行う医行為の違いを学び、医療的ケアの理解について講義する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 （別紙でも可）
①　介護保険制度	4.5	2.5	2	【通信学習課題の内容】 ・介護保険制度創設の背景 ・介護保険制度を取り巻く状況や制度の動向 ・要支援・要介護認定 ・介護財源 ・介護保険給付 ・介護サービス事業者の指定 ・更新 ・介護保険給付以外の事業 【講義内容】 ・介護保険制度創設の背景と目的、動向 ・予防重視型システムへの転換、地域包括支援センターの設置、地域包括ケアシステムについて ・介護保険制度の基本的仕組み ・制度を支える財源、組織と役割について ・介護給付・予防給付 ・要介護認定の手順 ・ケアマネジメント
②　医療との連携とリハビリテーション	1.5	0.5	1	【通信学習課題の内容】 ・介護職と医行為 ・リハビリテーション 【講義内容】 ・介護における医療と福祉の連携 ・介護職と医行為 ・訪問看護 ・リハビリテーションの意義と役割
③　障害者総合支援制度及びその他制度	3	1.5	1.5	【通信学習課題の内容】 ・障害者福祉の理念 ・障害者の定義 ・障害福祉サービスの種類と内容 ・生活保護の基本原理と基本原則 ・成年後見制度 ・日常生活自立支援事業 ・虐待防止法 ・年金制度 【講義内容】 ・障害者福祉制度の理念 ・障害の概念 ・障害者総合支援制度の基本的仕組み ・介護給付・訓練等給付の種類、申請から支給決定までの概要 ・個人の権利を守る制度の概要
（合計時間数）	9	4.5	4.5	

使用する機器・備品等	日本医療企画 介護職員初任者研修課程テキスト１「介護・福祉サービスの理解」

令和４年　６月　１日現在

シラバス

商号又は名称：　　ウェルコンサル株式会社

科目番号・科目名	（５）介護におけるコミュニケーション技術（６時間）			
指導目標	コミュニケーションの意義・目的・役割について理解し、介護の場面において効果的に実践できるよう講義する。介護職員として最低限のとるべき行動、注意点について指導する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 （別紙でも可）
①　介護におけるコミュニケーション	3	1.5	1.5	【通信学習課題の内容】 ・非言語的コミュニケーション ・介護におけるコミュニケーションの基本 ・閉じられた質問と開かれた質問 ・利用者・家族とのコミュニケーション ・聴覚障害者とのコミュニケーション ・認知症のある人とのコミュニケーション 【講義内容】 ・介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割 ・傾聴と共感 ・コミュニケーションの技法、言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーションの特徴、道具を用いたコミュニケーション ・質問の技法 ・利用者・家族とのコミュニケーションの実際 ・利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの実際 ・視力・聴覚障害、失語症、構音障害、認知症に応じたコミュニケーション技術 【演習内容】 利用者の状況に応じたコミュニケーションの取り方をグループでワークを行い、体験する。
②　介護におけるチームのコミュニケーション	3	1.5	1.5	【通信学習課題の内容】 ・記録の意義と目的 ・介護に関する記録の種類 ・事故報告書 ・記録の書き方と留意点 ・報告・連絡・相談 ・サービス担当者会議 ・ケアカンファレンスの意義 【講義内容】 ・記録による情報の共有化 ・記録の意義と目的 ・報告、連絡、相談の留意点 ・コミュニケーションを促す環境 ・ケアカンファレンスの重要性
（合計時間数）	6	3	3	

使用する機器・備品等	日本医療企画 介護職員初任者研修課程テキスト２ 「コミュニケーション技術と老化・認知症・障害の理解」

令和４年　６月　１日現在

シラバス

商号又は名称：　　ウェルコンサル株式会社

科目番号・科目名	（６）老化の理解（６時間）			
指導目標	加齢に伴う老化のしくみ・特徴について基本的な留意点を理解する。高齢者に多い疾病や障害について基本的な事項を理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 （別紙でも可）
①　老化に伴うこころとからだの変化と日常	3	3	0	【通信学習課題の内容】 ・寿命と老化の特徴 ・知的能力の老化と特徴 ・老化によるこころとからだの変化と観察ポイント ・高齢者が転倒しやすくなる原因 【講義内容】 ・老化に伴う心身の変化と特徴 ・老化に伴う心身の機能の変化と日常生活の影響 ・身体的機能(筋・骨・関節）の変化、咀嚼機能の低下、精神的機能の変化と日常生活への影響
②　高齢者と健康	3	3	0	【通信学習課題の内容】 ・高齢者の健康 ・高齢者の意識障害 ・老化に伴う疾患 ・廃用症候群が引き起こす症状 ・高血圧症、老人性高血圧の特徴 ・脳血管疾患 【講義内容】 ・高齢者と健康 ・高齢者に多い病気と日常生活上の留意点 【演習内容】 老化に伴う身体の変化による問題や留意点を個人ワークにてまとめた後、グループディスカッションをおこなう。
（合計時間数）	6	6	0	

使用する機器・備品等	日本医療企画 介護職員初任者研修課程テキスト２ 「コミュニケーション技術と老化・認知症・障害の理解」

令和４年　６月　１日現在

シラバス

商号又は名称：　　ウェルコンサル株式会社

科目番号・科目名	（７）認知症の理解（６時間）			
指導目標	認知症の医学的な仕組みや取り巻く状況を理解し、健康上の管理について講義する。また、認知症の人への対応、実際の関わり方、家族への支援について理解する。それぞれの症状や障害によって対処方法やケア方法が異なることを理解できるよう指導する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 （別紙でも可）
①　認知症を取り巻く状況	0.5	0.5	0	【通信学習課題の内容】 ・認知症の中核症状 ・認知症の人との関わり 【講義内容】 ・認知症ケアの理念
②　医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2.5	2	0.5	【通信学習課題の内容】 ・認知症に似た症状 ・認知症とは ・改訂長谷川式簡易知能評価スケール ・アルツハイマー型認知症と脳血管性認知症の比較 ・前頭側頭葉変性症（ピック病） ・認知症の人の健康管理 【講義内容】 ・認知症の定義・概念、もの忘れとの違い、せん妄の症状 ・認知症の原因疾患とその病態 ・原因疾患別ケアのポイント ・健康管理
③　認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	2.5	2	0.5	【通信学習課題の内容】 ・周辺症状 ・認知症ケアの基本、介護職員の姿勢 ・認知症の人とのコミュニケーション ・認知症の人のケアマネジメントセンター方式 【講義内容】 ・認知症の人の生活障がい ・中核症状 ・行動・心理症状（BPSD)、周辺症状の特徴 ・認知症の利用者への対応 【演習内容】 行動・心理症状(妄想・徘徊等）における対応についてグループディスカッションをおこなう。
④　家族への支援	0.5	0.5	0	【通信学習課題の内容】 ・家族への支援 ・家族介護者へのエンパワメント ・家族介護者のレスパイトサービス 【講義内容】 ・認知症の受容過程での援助 ・介護負担の軽減（レスパイトケア）
（合計時間数）	6	5	1	

使用する機器・備品等	日本医療企画 介護職員初任者研修課程テキスト２ 「コミュニケーション技術と老化・認知症・障害の理解」

令和４年　６月　１日現在

シラバス

商号又は名称：　　ウェルコンサル株式会社

科目番号・科目名	（８）障害の理解（３時間）			
指導目標	障害の概念と ICF の分類、医学的な側面、支援に関する制度や仕組みの基本について講義する。また障害者福祉の理念、介護の留意点、家族との関わり方について理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 （別紙でも可）
①　障害の基礎的理解	1	0.5	0.5	【通信学習課題の内容】 ・ICF とは ・身体障害者の定義 ・障害者基本法 【講義内容】 ・障害の概念 ・ＩＣＦの考え方 ・障害者福祉の基本理念
②　障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1.5	1	0.5	【通信学習課題の内容】 ・視覚障害 ・聴覚・平衡機能障害 ・音声・言語・咀嚼機能障害 ・脳性まひの定義とまひのタイプと症状 ・内部障害 ・精神障害 ・発達障害 【講義内容】 ・身体障害について（視覚障害、聴覚・平衡機能障害、音声・言語・咀嚼機能障害、肢体不自由、内部障害） ・知的障害について ・精神障害について（高次脳機能障害、発達障害含む） ・その他心理の機能障害
③　家族の心理、かかわり支援の理解	0.5	0.5	0	【通信学習課題の内容】 ・障害受容 ・当事者団体の活動を知っておくべき理由 【講義】 ・家族の心理 ・家族への支援 ・障害の受容 ・家族負担の軽減
（合計時間数）	3	2	1	

使用する機器・備品等	日本医療企画 介護職員初任者研修課程テキスト２ 「コミュニケーション技術と老化・認知症・障害の理解」

令和４年　６月　１日現在

シラバス

商号又は名称：　　ウェルコンサル株式会社

科目番号・科目名	（9）こころとからだのしくみと生活支援技術（７５時間）			
指導目標	介護に関する理論・専門的な技術について演習を交えて学習する。 効果的な介護サービスを提供することを念頭に置き、実際の介護の技術や介護過程の展開について演習を行う。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 （別紙でも可）
①　介護の基本的な考え方	2	1	1	【通信学習課題の内容 ・求められる介護福祉士像 ・介護の基本的な考え方 ・医療・介護サービスの「アプローチ」の違い 【講義内容】 ・倫理に基づく介護 ・法的根拠に基づく介護
②　介護に関するこころのしくみの基礎的理解	5	2	3	【通信学習課題の内容】 ・感情の基礎知識 ・マズローの欲求階層説 ・老年期の人間関係の特徴 ・老化過程への適応 ・障害への心理的反応 ・障害の受容 【講義内容】 ・学習と記憶の基礎知識 ・感情と意欲の基礎知識 ・老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因 ・こころの持ち方が行動に与える影響 ・からだの状態がこころに与える影響
③　介護に関するからだのしくみの基礎的理解	5	3	2	【通信学習課題の内容】 ・人体の構造と機能 ・バイタルサイン ・骨・関節・筋の基礎知識 ・中枢神経系と末梢神経系 ・自律神経の機能 ・老化と加齢 【講義内容】 ・人体の各部の名称と動きに関する基礎知識 ・骨・関節・筋に関する基礎知識 ・中枢神経系と末梢神経系に関する基礎知識 ・自律神経と内部器官に関する基礎知識 ・こころとからだを一体的にとらえる 【演習内容】 バイタルサインの測定方法
④　生活と家事	3	3	0	【講義内容】 ・家事と生活の理解 ・家事援助に関する基礎的知識と生活支援 【演習内容】 ・ベッドメイキング

⑤　快適な居住環境整備と介護	3	3	0	【講義内容】 ・快適な居住環境に関する基礎知識 ・介護保険による住宅改修 ・福祉用具に関する基礎知識 【演習内容】 ・福祉用具の紹介
⑥　整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	0	【講義内容】 ・整容に関する基礎知識 ・整容の支援技術 【演習内容】※講師１名体制で指導 ・肢体不自由者の衣服（上衣）の着脱介護（座位・臥位での更衣）
⑦　移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	14	14	0	【講義内容】 ・移動・移乗に関する基礎知識 ・残存能力の活用 ・ボディメカニクスの基本原理 ・移乗・移動に関する用具と活用方法 ・負担の少ない移動・移乗の支援方法 ・移動と社会参加の留意点と支援 ・褥瘡予防 【演習内容】※講師１名体制で指導 ・ベッド上での体位変換（仰臥位～側臥位、仰臥位～端座位、上方移動、水平移動） ・立位・座位介助 ・車いす・ベッドへの移乗介助 ・車椅子の点検・操作方法、車いす移動の介助 ・肢体不自由者の歩行介助（T 字杖） ・視覚障害者の歩行介助 ・スライディングシートの使用方法
⑧　食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	7	7	0	【講義内容】 ・食事に関する基礎知識 ・食事環境の整備と用具の活用方法 ・食事形態とからだのしくみ ・楽しい食事を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法 ・食事と社会参加の留意点と支援 【演習内容】※講師１名体制で指導 ・トロミの付け方 ・肢体不自由者に対する座位での食事介助 ・視覚障害者の食事介助 ・口腔ケア
⑨　入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	7	7	0	【講義内容】 ・入浴、清潔保持に関する基礎知識 ・入浴用具と整容用具の活用方法 ・入浴・清潔を保つための方法・環境 ・楽しい入浴を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法 【演習内容】※講師１名体制で指導 ・肢体不自由者の体・頭を洗う方法（座位） ・肢体不自由者への足浴（座位） ・清拭 ・浴槽跨ぎ

⑩　排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	7	7	0	【講義内容】 ・排泄に関する基礎知識 ・排泄環境整備と排泄用具の活用方法 ・差し込み便器・尿器の介助方法 ・爽快な排泄を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法 ・便秘の予防 【演習内容】※講師１名体制で指導 ・肢体不自由者のベッド～ポータブルトイレの介助 ・ベッド上での紙おむつの交換、陰部洗浄
⑪　睡眠に関したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	3	1	2	【通信学習課題の内容】 ・睡眠に関する基礎知識 ・寝室の環境 ・褥瘡予防 ・就寝時の安楽な姿勢への介助 【講義内容】 ・睡眠に関する基礎知識 ・睡眠環境と用具の活用方法 ・快い睡眠を阻害するこころとからだの要因の理解と支援方法 【演習内容】※講師１名体制で指導 ・安眠のための環境整備、寝具の整え方 ・安楽な姿勢、褥瘡予防
⑫　死にゆく人に関したこころとからだのしくみと終末期介護	3	3	0	【講義内容】 ・終末期に関する基礎知識とこころとからだのしくみ ・死への過程 ・「死」に向き合うこころの理解 ・苦痛の少ない死への支援 【演習内容】※講師１名体制で指導 ・終末期介護に関するグループディスカッションをおこなう。
⑬　介護過程の基礎的理解	3	3	0	【講義内容】 ・介護過程の目的・意義・展開の基礎的理解 ・介護過程とチームアプローチ 【演習内容】※講師１名体制で指導 ・ICF に基づくアセスメント ・アセスメント、介護計画書等の記録用紙を用いた介護過程の演習
⑭　総合生活支援技術演習	7	7	0	【講義内容】 ・介護過程の目的・意義・展開の基礎的理解 ・介護過程とチームアプローチ 【演習内容】※講師１名体制で指導 ・ICF に基づくアセスメント ・アセスメント、介護計画書等の記録用紙を用いた介護過程の演習
（合計時間数）	75	67	8	

使用する機器・備品等	日本医療企画 介護職員初任者研修課程テキスト３ 「こころとからだのしくみと生活支援技術」 介護ベッド、車いす、歩行補助杖、ポータブルトイレ、スライディングシート等

令和４年　６月　１日現在

シラバス

商号又は名称：　　ウェルコンサル株式会社

科目番号・科目名	（１０）振り返り（５時間）			
指導目標	研修の全課程を振り返り、習得した知識・技術について再確認する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 （別紙でも可）
①　振り返り	3	3	0	【講義内容】 ・研修を通じて学んだこと ・今後継続して学ぶべきこと ・根拠に基づく介護についての要点(利用者の状態に応じた介護と介護過程、知識の重要性、チームアプローチの重要性等) 【演習内容】 ・研修を通じて学んだこと、今後継続して学ぶべきこと、今後のキャリアについてグループディスカッションをおこなう
②　就業への備えと研修修了後における実例	1	1	0	【講義内容】 ・今後のキャリアパスと資格取得要件について ・研修終了後における継続的な研修について ・事業所等における OJT・OFF-JT とは、具体例にイメージできるような実例の紹介、学習方法
（合計時間数）	4	4	0	

使用する機器・備品等	日本医療企画 介護職員初任者研修課程テキスト３ 「こころとからだのしくみと生活支援技術」